



BSN

第 **87** 期

中間事業報告書

株式会社新潟放送 証券コード:9408

2016. 4. 1 ▶ 2016. 9. 30



株主の皆様へ



株主の皆様には、平素より当事業につき格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

ここに当社第 87 期中間事業報告書をお届けいたしますので、ご高覧賜りますようお願い申し上げます。

なお、中間配当につきましては、当期は来年の会社創立 65 周年にかかりますので、1 株につき 3 円 75 銭の普通配当に、記念配当として 1 株につき 1 円 25 銭を加え、合計 5 円とさせていただきます。株主の皆様におかれましては、今後とも変わらぬご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成 28 年 12 月

代表取締役社長

竹石 松次

事業の経過及び成果

(平成 28 年 4 月 1 日から平成 28 年 9 月 30 日まで)

当上半期のわが国経済は、株式市場の低迷や不安定な為替相場の動きを背景に、企業収益の下振れ傾向がみられ、個人消費、設備投資ともに弱含んだ状態で推移しました。また、中国や新興国経済の減速に続き英国の EU 離脱問題といった外的な要因に加え、国内においてもデフレ脱却へ向けた日銀の金融政策に十分な効果が現れず、景気の先行きは依然として不透明な状況となっています。

このような状況の中で、当社はラジオ・テレビ番組のさらなる充実を図るとともに、放送以外の部門におきましても、新規事業の創設やイベントの拡充をすすめ、広告主のニーズに即した積極的な営業活動を推し進め収益の確保に傾注いたしました。

この結果、当上半期の営業収益は 34 億 7 千 7 百万円と、前年同期比 101.5%、5 千 2 百万円の増収となりました。経常利益は前年同期比 108.7%の 3 億 6 百万円となりましたが、最終の中間純利益は 2 億 6 千 4 百万円と、特別利益を計上した前年同期比 87.9%となりました。

部門別の概況は次のとおりであります。

ラジオ部門

スポット収入におきましては、司法書士法人などの大口出稿が売上げに寄与し、前年同期を上回りましたが、大口のスポンサーが提供するネット番組の終了に伴うタイム収入の減収に加え、制作収入も前期を下回った結果、ラジオ部門全体の売上げは前年同期比 99.3%の 3 億 6 千 5 百万円となりました。

番組につきましては、今年度の日本民間放送連盟賞で、報道部が取材構成した番組「ふるさと 新潟 祖国日本還りついたうつつの国」をラジオ用に再編集し、優秀賞を受賞いたしました。



B S N 夏ラジオ (7 月 29 日)

テレビ部門

テレビ収入におきましては、収益の柱であるスポット広告市況が期半ばから新潟県内、首都圏ともに好転したことが寄与し、前年同期比 102.8%、7,100 万円増の 26 億 1 百万円となりました。

こうした中、新潟県内のその日の出来事を伝えるニュース番組が大きく変わりました。



「BSN NEWS ゆうなび」(月～金曜午後 6 時 15 分から) 久能木・工藤・新海アナ

3 月 28 日から夕方 6 時 15 分に「BSN NEWS ゆうなび」をスタート。コンセプトは「信頼される誠実なニュースに親しみやすさと明るさをプラス」。キャスターはニュースの「顔」工藤淳之介アナと、新潟市出身でキャスター初挑戦の新海史子アナ、さらに、気象予報士の資格を持つ久能木百香アナが新加入。気になる天気を詳しく解説しています。

重大ニュース、安心・安全につながるニュースを多角的に伝え、中継でどんどん現場にも出ています。また、特集はタイムリーな話題を分かりやすくお届けしています。

「BSN NEWS ゆうなび」で、「新しいゆうがた」が始まりました。

農家 JAPAN



水曜見ナイト 2Hスペシャル (8 月 3 日放送)

ゴールデンタイムのレギュラー番組、水曜見ナイトでは、4 月に新潟市で行われた G 7 農業大臣会合にあわせて、「農家 JAPAN」と題した農業特番を放送しました。

新潟市で農家レストランを立ち上げるトマト農家と自然農法に取り組むコメ農家の二人のそれぞれの苦労と喜びを描いたもので新潟の農業のあすを見つめる作品として放送しました。



にいがた偉人伝「#17 諸橋轍次 ～世紀の偉業 大漢和辞典～」
日本民間放送連盟賞の特別表彰部門で優秀賞

8 月には長岡花火 2 時間スペシャルを生放送し、19.5%の高視聴率を獲得しました。番組は信越放送でも生放送され、長野県の方々にも長岡花火の魅力を伝えることができました。

また、2015 年 10 月から放送していた「にいがた偉人伝」の全 50 話の放送が 9 月に終了しました。

この中から「#17 諸橋轍次 ～世紀の偉業 大漢和辞典～」が日本民間放送連盟賞の特別表彰部門「青少年向け番組」で優秀賞に選出されました。全 50 話は DVD 化して、新潟県内の全ての小・中・高校、公立図書館等へ寄贈いたします。



その他の部門

当上半期は、今年新潟で唯一のプロ野球かつ新潟初のセ・パ交流戦、「横浜 DeNA 対北海道日本ハム」をハードオフエコスタで開催しました。アルビレックスチアのダンス、Negicco の始球式、キッズ選手へボールプレゼントなどのセレモニーも盛り上がり、公式発表 19,531 人が熱戦に大きな歓声を上げました。

また、夏休み恒例の親子向けビッグイベント、今期は「ジュラシック大恐竜展 in ときメッセ」を開催しました。体長 13 メートルのティラノサウルスをはじめ 10 体の動く恐竜や化石の展示を一目見ようと、親子連れなど期間中 7 万人余りが入場しました。

その他の部門の収入は前年同期比 96.8% の 5 億 9 百万円となりました。



ジュラシック大恐竜展 in ときメッセ
(7月16日～8月14日)



プロ野球セ・パ交流戦 横浜DeNA vs 北海道日本ハム
(6月14日 ハードオフエコスタジアム)

FM 補完から 1 年

AM ラジオ放送の災害時における強靱化対策として、信越管内で初めて FM 補完中継局を整備し、災害時の住民への情報伝達の確保と地域の電波利用の普及発展に寄与したとして、6月1日「電波の日」に「信越総合通信局長賞」を受賞しました。

昨年 11 月 1 日に開局した FM 補完中継局の周波数は 92.7MHz、出力 1kW で県内世帯数の 80% をカバーします。親局のインフラが整ったことで災害対策については大きな前進となりました。

今後も放送事業者として社会的責務を果たし、聴取者の期待する番組を提供し続けるとともに、官民挙げてワイド FM ラジオの普及に一層取り組み、ラジオの強靱化・放送ネットワークの強靱化を更に進めてまいります。



FM補完中継局開設で
信越総合通信局長賞を受賞（6月）

財務諸表

■ 中間連結貸借対照表 ■ (単位：千円)

科 目	当中間期末 平成28年 9月30日	前会計年度期末 平成28年 3月31日
(資産の部)		
流動資産	11,047,656	10,539,714
固定資産	12,060,369	11,706,153
有形固定資産	7,196,375	7,157,621
無形固定資産	296,052	263,068
投資その他の資産	4,567,941	4,285,463
資産合計	23,108,026	22,245,867
(負債の部)		
流動負債	5,417,663	4,830,274
固定負債	1,743,739	1,841,491
負債合計	7,161,403	6,671,765
(純資産の部)		
株主資本	14,006,592	13,725,924
資本金	300,000	300,000
資本剰余金	5,750	5,750
利益剰余金	13,701,365	13,420,698
自己株式	△524	△524
その他の包括利益累計額	379,601	292,799
非支配株主持分	1,560,429	1,555,377
純資産合計	15,946,623	15,574,102
負債・純資産合計	23,108,026	22,245,867

■ 中間連結キャッシュ・フロー計算書 ■ (単位：百万円)

科 目	当期 平成28年 4月 1日から 平成28年 9月30日まで	前期 平成27年 4月 1日から 平成27年 9月30日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,425	1,315
投資活動によるキャッシュ・フロー	△340	△9
財務活動によるキャッシュ・フロー	△469	△383
現金及び現金同等物の増加額	614	921
現金及び現金同等物の期首残高	4,368	3,352
現金及び現金同等物の中間期末残高	4,983	4,274

■ 中間連結損益計算書 ■ (単位：千円)

科 目	当中間期末 平成28年 4月 1日から 平成28年 9月30日まで	前中間期末 平成27年 4月 1日から 平成27年 9月30日まで
売上高	9,680,026	9,233,814
売上原価	7,091,653	6,639,362
売上総利益	2,588,373	2,594,452
販売費及び一般管理費	2,230,649	2,309,202
営業利益	357,724	285,249
営業外収益	49,593	45,809
営業外費用	15,942	14,881
経常利益	391,374	316,177
特別利益	46	54,559
特別損失	10,779	1,975
税金等調整前中間純利益	380,641	368,761
法人税等	58,941	45,260
中間純利益	321,700	323,501
非支配株主に帰属する中間純利益	18,535	6,023
親会社株主に帰属する中間純利益	303,164	317,478

■ 個別 ハイライト ■ (単位：百万円)

科 目	当中間期末 平成28年 9月30日	前期末 平成28年 3月31日
総資産	12,638	12,196
純資産	10,843	10,633

科 目	当中間期末 平成28年 4月 1日から 平成28年 9月30日まで	前中間期末 平成27年 4月 1日から 平成27年 9月30日まで
売上高	3,477	3,425
営業利益	243	228
経常利益	306	282
中間純利益	264	301



■ 重要な子会社の状況 ■

会社名	資本金 (百万円)	出資比率 (%)	主要な事業内容
株BSNウェーブ	85	100.0	建物管理及び不動産業
株BSNアイネット	200	65.5	情報処理サービス及び電算機器の販売
株ビーアイテック	50	65.5	パソコン機器及び関連商品の販売、 及びシステム建設並びに保守
株ITスクエア	80	56.3	情報化戦略立案支援及び情報システム導入 調達支援

B S Nグループ (◇は連結対象子会社)

(株)新潟放送

◇(株)BSNウェーブ

◇(株)BSNアイネット

◇(株)ビーアイテック

◇(株)ITスクエア

(株)エム・エス・シー

(株)エヌ・ティ・エス

龍越ソフト(株)

(株)グローバルネットコア

(株)日本ファシリティ

株式の概況 (平成28年9月30日現在)

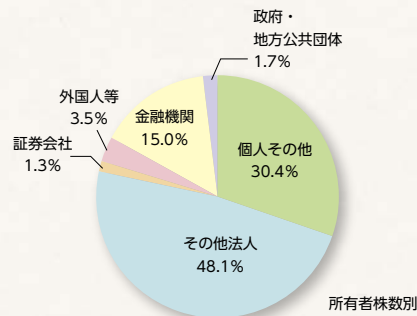
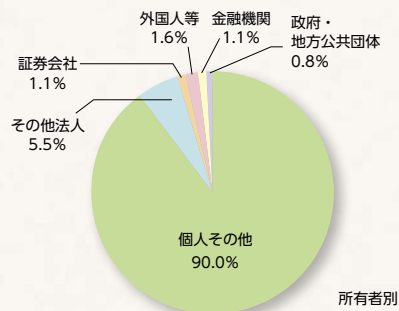
- ◆ 発行可能株式総数 10,000,000 株
- ◆ 発行済株式総数 6,000,000 株
(自己株式 794 株を含む)
- ◆ 株主数 1,291 名

◆ 大株主 (上位 10 名)

株主名	所有株式数	持株比率
株式会社新潟日報社	765,800 株	12.8 %
越後交通株式会社	579,050	9.7
株式会社東京放送ホールディングス	485,000	8.1
株式会社第四銀行	299,600	5.0
第四リース株式会社	204,000	3.4
損害保険ジャパン日本興亜(株)	132,000	2.2
BSN 従業員持株会	123,100	2.1
蒲生 逸郎	122,000	2.0
ROYAL BANK OF CANADA	120,000	2.0
みずほ信託銀行株式会社	107,000	1.8

※持株比率は、自己株式を控除して計算しております。

株式の分布状況 (平成28年9月30日現在)





会社の沿革 (平成28年9月30日現在)

昭和27年10月14日	会社創立「株式会社ラジオ新潟」 (資本金5,000万円)
12月24日	ラジオ放送開始
29年 5月 1日	増資2,000万円 (ラジオ設備資金) 資本金7,000万円
33年 2月17日	増資1,400万円 (株式配当) 資本金8,400万円
3月25日	増資11,600万円 (テレビ設備資金) 資本金20,000万円
12月24日	テレビジョン放送開始
36年 3月 1日	商号「株式会社ラジオ新潟」を 「株式会社新潟放送」に変更
38年 9月 2日	増資10,000万円 (BSN産業会館設備資金) 資本金3億円
39年10月 1日	テレビジョンカラー放送開始
44年 4月15日	東京店頭売買銘柄に登録
49年 8月30日	決算期を毎年3月31日とする
平成 5年 8月20日	500円額面株式1株を50円額面 株式10株に分割し、1単位の株式 数を100株から1,000株に変更
11年 8月 2日	1単位の株式数を1,000株から 100株に変更
13年10月 1日	1単位の株式数100株を1単元の 株式数100株に変更
16年12月13日	ジャスダック証券取引所(現 東京証 券取引所ジャスダック市場)に変更
18年 4月 1日	地上デジタルテレビ放送開始
23年 7月24日	テレビのアナログ放送終了し、 デジタル放送に完全移行
27年11月 1日	ラジオFM補完放送開始

役員 (平成28年9月30日現在)

代表取締役社長	竹石松次
常務取締役	赤塚 宰
常務取締役	斎藤和利
取締役	島田好 久
取締役	高坂元 己
取締役	佐藤隆 夫
取締役	梅津雅 之
取締役	小田敏 三
取締役	吉田 靖
取締役	並木富 士雄
常勤監査役	五十嵐 幹 史
監査役	高橋道 映
監査役	中山輝 也
監査役	瀬賀弥 平

顧問	田中真紀子
特別顧問	高澤正 樹
特別顧問	牧野庄 三



BSN



■ 本 社

〒951-8655
新潟市中央区川岸町3-18
tel 025(267)4111

■ 事業局

〒950-8548
新潟市中央区万代3-1-1
メディアシップ
(事業部) tel 025(290)7844

■ 長岡支社

〒940-0082
長岡市千歳1-3-43
メディアぶらっと
tel 0258(35)7531

■ 上越支社

〒943-0831
上越市仲町4-3-19
マルケーバスビル
tel 025(524)2115

■ 東京支社

〒104-0061
東京都中央区銀座5-15-1
南海東京ビル
tel 03(3543)5001

■ 大阪支社

〒550-0002
大阪市西区江戸堀1-9-1
肥後橋センタービル 2階
tel 06(6443)2700